

## ⑫ 公開特許公報 (A) 昭60-65945

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
F 16 H 7/08

識別記号

庁内整理番号  
7127-3J

⑭ 公開 昭和60年(1985)4月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 テンショナ装置

⑯ 特 願 昭58-172583

⑰ 出 願 昭58(1983)9月19日

⑱ 発明者 高田 稔 保谷市北町3-8-20

⑲ 出願人 本田技研工業株式会社 東京都渋谷区神宮前6丁目27番8号

⑳ 代理人 弁理士 藤村 元彦

Report

## 明 翰 図

## 1. 発明の名称

テンショナ装置

## 2. 特許請求の範囲

巻動始と後退巻動とに巻回される無端状伝導帯に所定張力を付与するテンショナ装置であつて、前記無端状伝導帯の回動面に沿つて移動自在にかつ前記無端状伝導帯に接歯し得るテンショナ部材と、前記テンショナ部材に先端部にて駆動自在に当接しつつ前記回動面内にて駆動して前記テンショナ部材を押圧するアーム部材を担持するアーム担持手段とからなり、前記アーム担持手段は固定部材と、前記アーム部材の回動中心点と同軸に回動自在となるように前記固定部材に締合して前記固定部材との間に油圧室を形成するネジ部材と、前記油圧室に油圧を供給して前記ネジ部材を前記アーム部材の押圧方向と同一方向に回動するが如く付与する油圧供給手段とからなることを特徴とするテンショナ装置。

## 3. 発明の詳細な説明

本発明は巻動始と後退巻動間に巻回される無端状伝導帯に所定の張力を付与するようにしたテンショナ装置に関するものである。

内燃機関用のチェーン伝導機構に設けられるテンショナ装置、特にワンウェイ機構をもつものとして、本出願人は実用昭第56-91372号(発明の名称「テンショナの油圧作動装置」)、特願昭第57-22585号(発明の名称「チェーンテンショナ装置」)において逆止弁を用いた油圧作動装置方式及びワンウェイクラッチ方式のものを提案したがいずれもチェーンがたるんだ場合でも常に一定の張力を加えることができるよう充分な作動ストロークを持つ必要があった。

しかしながら、上記した油圧作動装置方式においてはピストンの直進運動によって、また上記ワンウェイクラッチ方式においてはクラッチの回転方向の長さによって各々ストロークが決まる故にストロークを十分確保するためには前記油圧作動装置及びワンウェイクラッチを大型化せざるを得

すコストアップを招来すると共に占有スペースの増大により取付位口が限定されるという問題もあった。

本発明は上記問題点を解決せんとしてなされたものであつてテンショナ装置の小型化とともに取付自由度を増すことを目的とするものであり、本発明によるテンショナ装置においては、無端状伝導帯に所定張力を付与すべく駆動当接したテンショナ部材を押圧する駆動アーム部材に直接あるいはギア等を介して連結して固定部材に回動自在に組合しあつ該固定部材との間に油圧室を形成するネジ部材を設け、該油圧室に常時油圧を維持して該ネジ部材を付勢して該駆動アーム部材をしてテンション付与方向へ組合せしめるが如くなされているのである。

以下、添付図面により本発明の実施例について詳細に説明する。第1図は本発明の実施例たる内燃機関のカムチェーンテンショナ装置を示しクラシクシャフト1とカムシャフト2にはそれぞれ駆動スプロケット3と被駆動スプロケット4、4が

- 3 -

ナット31にて締合されている。アーム部材12の先端には該アームの駆動面と直角方向にガイド部材12aが設けられテンショナ部材7に当接している。ハウジング10の外周にはコイルスプリング14が巻装され、該スプリングの一端14aはハウジング支持座の円筒突起部9aに係止し、他端14bは前記アーム部材12に係止してアーム部材12に結合されたネジ部材11が常に外方(図D方向)へ移動するように第3図の時計方向に付勢されている。

ネジ部材11には他端にて開口した中心孔が設けられ、該中心孔の内壁に密接してかつ駆動自在に構部材13が中空室30を形成すべく押込まれ構部材13の基部13aはハウジング10に設けたネジ部10bに組合して構部材13とハウジング10とは一体的に固定部材となっている。

構部材13には貫通油圧通路15が形成され、該油圧通路の先端は中空室30に向って開口するオリフィス16に連通しており、オリフィス16の開口面に密着して逆止弁を形成するゴム状弁体

- 5 -

取付けられており、カムチェーン5がスプロケット3の矢印Aの方向への回転によりスプロケット3、4間に巻回されたカムチェーン5が矢印B方向へ回動してスプロケット4、4の各々が矢印Cの方向に駆動される。カムチェーン5の相反には下端を約16によってカムチェーン5の回動中心に垂直な面すなわち回動面内において駆動自在に駆動される弓状のテンショナ部材7が当接し、その背面をカムチェーン5に向けて押圧する油圧式作動装置8が配設されている。次に、油圧作動装置8の構造について第2図及び第3図を参照しつつ説明する。なお、第2図は第1図における油圧作動装置8のII-II要部拡大断面図であり、第3図は第2図の側面図である。油圧作動装置8は樹脂の適当な個所に支持座9によって支持されたハウジング10を含み、ハウジング10にはメネジ部10aを設けネジ部材11が回動自在に組入され、ネジ部材11の先端にはスライド部11bが設けられこれにアーム部材12の基部に形成されたスライド孔が組合してワッシャを介して

- 4 -

17が構部材13の先端突起19にカシメられて固定されている。

一方、オリフィス16とは反対側の油圧通路15の開口端には一方を図示しない油圧供給装置(例えば樹脂のオイルポンプ)に接続される油圧管20に連通し油圧中室21を有する油圧操作手22がオイルジョイントボルト23によって油圧通路15との連通を維持して固定せしめられている。なお、オイルジョイントボルト23には油圧中室21と前記油圧通路15を遮断せしめるための通路24が設けられている。

次に、上記実施例の作用について説明する。すなわち、第2図からも明らか如く、駆動回転中にあっては中空室30には、油圧管20を通じた油圧がオイルジョイントボルト23のオイル通路24、構部材13の油圧通路15及びオリフィス16を経て所望の油圧が維持されている。

アーム部材12はコイルスプリング14によって常にテンショナ7の背面に押圧されチェーン5に略一定の張力を与えられているが、チェーン5

- 6 -

が組んで第3図のE方向に移動すると、アーム部材12はコイルスプリング14の押圧によって同図F方向に回動する。このアーム部材12のF方向への回動に従ってネジ部材11が同一方向に回動してハウジング10の外方第2図D方向へ移動すると、中空室30の容積が拡大しその結果オリフィス16を通り加圧油が中空室30に流入することになる。オリフィス16には逆止弁17が設けられているため中空室30内の油圧は減少することはなくネジ部材11は図D方向と反対方向のハウジング10の内方への移動は規制される。その結果、アーム部材12も図F方向の回動を規制されるためチェーン5は図E方向と反対方向に戻ることがなく、常に略一定の張力で張られる事になるのである。尚、上記実施例は、内燃機関のカムシャフト駆動チェーンのテンショナ装置であるが、本発明は伝導ベルトその他の伝導帶にも適用できることは勿論である。

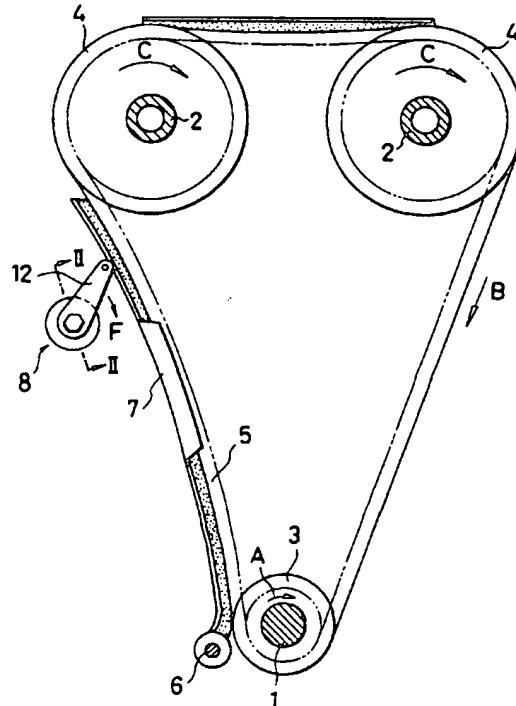
上記したことから明らかな如く、本発明によるテンショナ装置においては、チェーン等の伝導状

- 7 -

伝導帶にテンションを付与するテンショナ部材をバネ力によって回動してこれを押圧する回動アーム部材を固定部材の固定ネジ孔に嵌入せしめたネジ部材によって拘束し、テンショナ部材のテンション強化回動方向と該ネジ部材の突出回動方向とを一致せしめると共に該ネジ部材と該固定部材との間に油圧室を形成してこの油圧室内に常時所定圧以上の油圧が維持されるが如く油圧供給路が形成されているのである。従って、該回動アーム部材の回動方向がその回動面に直角な該ネジ部材の突出方向移動方向に変換され該回動アーム部材の大なる回動角に対して該ネジ部材の突出移動量はネジピッチの過度な設定によって小さくすることが出来、テンショナ装置全体としての小型化が達成されコストダウンと共に取付自由度が増大するのである。また、該回動アームの回動面に平行に油圧供給路を配設することが出来る構成であるため、内燃機関のカムチェーンのテンショナ装置として用いた場合には機関本体の小型化にも寄与するのである。

- 8 -

## 第1図



なお、固定部材としてのハウジング10及び部材13とネジ部材11との組合形態は上記実施例に限定されることなく、色々の変形例が考えられることは自明である。

## 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるテンショナ装置を含む内燃機関のカム駆動系の略図、第2図は第1図のII-II断面に沿った要部拡大断面図、第3図は第2図の側面図である。

## 主要部分の符号の説明

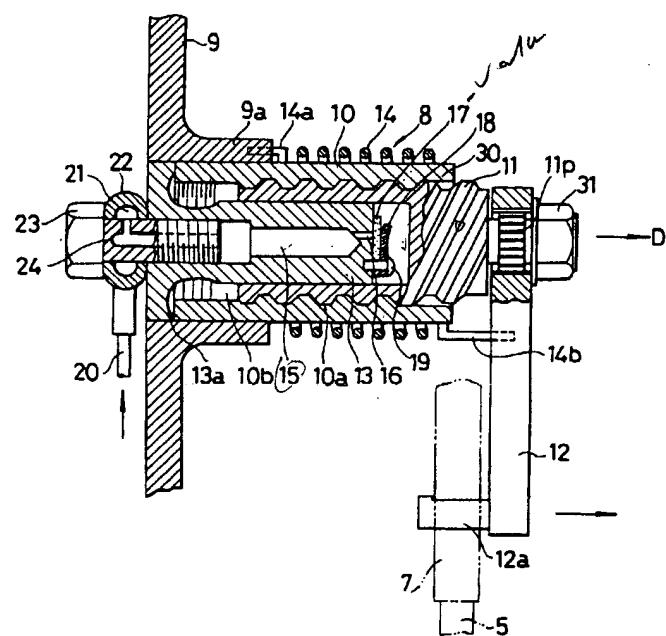
5 …… チェーン	7 …… テンショナ
8 …… 油圧作動装置	
11 …… ネジ部材	
12 …… アーム部材	
17 …… 逆止弁を形成するゴム状弁体	
16 …… オリフィス	
23 …… オイルジョイントボルト	
30 …… 油圧室	

出願人 本田技研工業株式会社

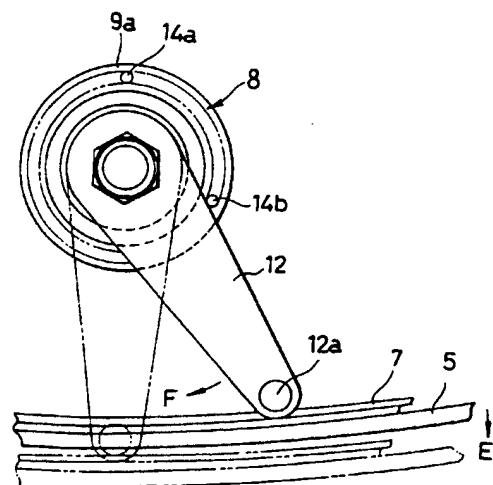
代理人 弁理士 萩村元彦

- 9 -

第 2 図



第 3 図



PAT-NO: JP360065945A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60065945 A

TITLE: TENSIONER DEVICE

----- KWIC -----

PURPOSE: To miniaturize a tensioner device and increase the degree of freedom of installation by providing a screw member on a swinging-arm member, which presses a tensioner member for giving tension to an endless transmission band, and forming a hydraulic chamber between said screw member and a stationary member.

CONSTITUTION: During the operation of an engine, a hydraulic pressure from a hydraulic pipe 20 is supplied to the hollow chamber of a hydraulically operating device 8, through an oil passage 24, hydraulic-pressure passage 15 and an orifice 16. And, an arm member 12 is always pressed against the back of a tensioner member 7 by means of a coil spring 14 to give a certain tension to a cam chain 5, an endless transmission band. If the cam chain 5 becomes loose and moved, the arm member 12 rotates due to the pressure of the coil spring 14. Thereby, the screw member 11 is moved in the direction of D, the volume of the hollow chamber 30 is increased, and a pressurizing oil flows into the hollow chamber 30 through a check valve 17. Accordingly, the cam chain 5 is always stretched at a certain tension.